

施策 5 スポーツ・レクリエーション活動を振興する

基本施策 5-1 スポーツ・レクリエーション機会の創造・充実

1 概要

- 市民の多様なニーズに対応した**スポーツ教室、市民スポーツ行事等の推進・充実**を図ります。
- 健康・体力づくりの促進**や**情報サービスの提供**を図ります。
- 総合型地域スポーツクラブの設立支援**を図ります。

2 成果指標

(1)生涯にわたるスポーツ活動の推進

ライフステージに応じたスポーツ活動への参加を促すとともに、指導者の養成・支援を図ります。

(2)地域に根ざしたスポーツの振興

子どもから高齢者まで、年齢や性別に関係なく、個々のライフスタイルに応じたスポーツ活動を楽しむことができる「総合型地域スポーツクラブ」について、各区に設立できるよう支援します。また、学校施設開放事業により、市民が継続してスポーツ活動を行えるような環境づくりを進めます。

(3)スポーツ施設の整備推進

市民のスポーツ・レクリエーションの場を充実させるため、各種スポーツ施設の整備・推進を図ります。

指標名		19 年度	20 年度	21 年度	目標値 (22 年度)
週に 1 回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合		20% (18 年度)	—	27%	30%
スポーツ・レクリエーション活動に参加した市民数(年間延数)		4, 473, 101	4, 417, 459	4, 452, 344	4, 500, 000
主な事業	○市民スポーツ振興事業 81 コースのスポーツ教室の開催し、12,739 人の参加を得、子どもから大人まで広くスポーツに親しむ機会を提供します。その他、スポーツコーチの資質向上のための研修会を実施します。 ○学校施設開放事業 千葉市立の小学校 120 校、中学校 56 校の計 176 校で実施し、校庭、体育館、武道場を学校体育の支障のない範囲で、市民に開放しています。				

3 平成 21 年度の評価及び今後の課題に対する対応方針

(1)各種スポーツ施設の運営

- アイススケート場「アクアリンクちば」については、**年間延べ 22 万人以上の利用者**があり、**開設から累計で 100 万人を突破**した。

- 「千葉市民ゴルフ場」は、指定管理者の努力等により25,000人以上の市民に利用があった。
- 「千葉市民ゴルフ場」、「アクアリンクちば」を除く他の**体育施設**（合計 10 か所）は、**年間延べ 170 万人以上の多くの市民の利用**があった。
- 「千葉市民ゴルフ場」、「アクアリンクちば」、「体育施設（合計10か所）」の**指定管理施設**に対しては、多様化する市民ニーズのなか、公の施設の目的を効果的、効率的に達成するため利用者からの要望を取り入れる等、**サービス向上**に努めていきたい。特に、「千葉市民ゴルフ場」は、**指定管理者の持つ民間ノウハウを活用した自主事業運営やサービスの向上と施設の整備・充実**により、さらなる利用者の増加を図っていかねばならない。
- 情報サービス体制を確立するとともに、**民間施設を含めた既存スポーツ施設の有効活用**を図り、市民が手軽に多様なスポーツ・レクリエーション活動ができる場の確保に努めていくことが必要である。
- 「体育施設（合計10か所）」に関しては老朽化した施設もあり、**施設の維持補修、改修を行い、充実を図ることが必要**である。

(2)学校体育施設の開放

- 市民に身近なスポーツ施設として、広く市民にスポーツ・レクリエーション活動の場の提供をすることができている。なお、開放については、学校教育に支障のない範囲で行っている。
- 利用者が**年間延べ 225 万人**を超える事業として市民に定着している一方で、利用がほぼいっぱい状況である。利用形態について調査し複数の団体が同時に利用するなどの工夫が必要である。
- 「学校体育施設開放」事業のほかに、**民間、大学等の既存のスポーツ施設**についても、**市民が有効利用できないか検討**を図り、さらに地域の方々に定着させたい。
- 市民相互の公平性の観点から、受益と負担を明確にするため、今後協議の必要がある。

基本施策 5-2 「観るスポーツ」の提供

1 概要

- 国際的、全国的レベルのスポーツイベントを開催**することにより、市民のスポーツ活動の普及を図ります。

2 成果指標

(1) スポーツを通じた交流の推進

国際千葉駅伝など、すでに市民に定着している大会の実施に加え、国際的・全国的スポーツイベントの開催・誘致を図ります。

指標名	19 年度	20 年度	21 年度	目標値 (22 年度)
スポーツイベント(国際千葉駅伝)の視聴率	男女混合 10%	男女混合 11%	男女混合 10%	13%
スポーツイベント(国際千葉駅伝)の応援者数	174,500	191,200	285,000	180,000
主な事業	○国際千葉駅伝事業 日本陸連、千葉県等とともに大会を主催します (市内周回コースで、13 カ国 15 チームが参加)			

3 平成 21 年度の評価及び今後の課題に対する対応方針

(1) スポーツ大会の実施等

- 「**国際千葉駅伝**」、「**千葉国際クロスカントリー大会**」は、千葉県及び県教育委員会との共催事業として実施し、テレビ放映もされている。会場及び沿道において、多くの市民が世界的なトップランナーを観戦することにより、「**観るスポーツ**」として定着している。特に、国際千葉駅伝の応援者は、目標値を大きく上回った。
- 環境の変化や多様化する市民ニーズへの対応、生涯学習を展望したスポーツ振興を図るため、**市民参加型のスポーツイベント及び国際的・全国的なスポーツイベントの開催・誘致**に今後も取り組んでいく。
- 国際千葉駅伝、千葉国際クロスカントリー大会などの国際的・全国的な大型スポーツイベントは、テレビ放映もされ、多くの方が視聴することから、「観るスポーツ」として視聴率の向上に努めたい。特に、国際千葉駅伝は、テレビ局への働きかけにより、視聴率も目標値を上回るようにしていきたい。